



- ・やはり色々な世代、仕事をされている人達の交流は刺激になりました。
- ・積極的な方が多く、人と話しをする時間は短かったものの有意義な時間でした。しゃべったり文字にしたりということが苦手ですが、それなりに出来たかと思えます。
- ・上野原にもいろいろな人がいる（増えている）ことがわかった！
- ・今日の気付きは「市内の人が知らない。」ことに課題があるなということです。行政以外の人の話を聞くと結構個人的に活動しているのにそれを私は知りませんでした。（駅で自転車を貸していたなど）
- ・上野原の将来を考えている方たちがたくさんいて、うれしかったです。
- ・大勢の方が参加されていて（10名ちょっとの想像で来ました）しかもランダムに集合されている感じが良かった。
- ・市民の皆さんの忌憚ない意見や熱意を聞くことが出来てよかった。少し行政頼みの考えが強いように感じた。

- ・上野原の10年後が楽しみです。
- ・体を動かしながらの進行等、斬新でした。
- ・年代問わず、みなさんが感じていること、考えていること、思っていることがたくさんあるなと思いました。魅力が何なのか、見つけてそれを活かせるようにしていきたいと思いました。
- ・研修のパターンとしては古い、ゴッコ化する（グループ、模造紙、発表）。もっとリアルな提案に向かう導きをしてほしい。
- ・本日の課題を通じて、自分も含めて自分事として話しをされている方が少ない気がした。（抽象的なことを話す方が多い）地域を自分ごととして捉えることができるような目標・ビジョンが共有できるといいな。
- ・ぜひ2回目も参加したいと思えます。
- ・もう少しつつこんだ内容を期待していました。
- ・モチベーションがあがりました！ありがとうございました。お話し好きな人が多いので、時間が足りなさそうです。

第2回うえのはら未来会議

日時 | 2024年6月8日（土）9:00～12:00 会場 | もみじホール

テーマ | 「わたしの未来とまちの未来を想像しよう」

今私が感じていることや活動していることは、まちの動き（計画など）にどのように繋がっていくのか？この先の5年、さらにその先へ。自分の未来とまちの未来を描きます。

第2回からの参加者歓迎！

UENOHARA MIRAI PRESS

NEWS LETTER vol.1 上野原をまだ、知らないだけ



Topics

上野原市総合戦略の策定に向けた市民ワークショップ
『うえのはら未来会議』がはじまりました！

うえのはら
未来会議
2024

上野原市では、進む人口減少とまちの衰退を食い止めるため（地方創生を推進するため）、令和7年度（2025）から令和12年度（2030）までの5年間を計画期間とした新しい総合戦略の策定に取り組んでいます。4月27日にスタートした「うえのはら未来会議」では、市民35名が参加しました。

うえのはら未来会議は、上野原に暮らしている人たちと市と一緒に「みんなが自慢できる上野原」や「こんな上野原になったらいいな」を考え、実践していくための話し合いの場です。第1回となる今回は、「10年後の上野原の姿」について、参加者で対話をしました。

10月頃までに開催するうえのはら未来会議では、移住・定住だけでなく、創業や雇用創出、結婚、子育て、福祉、教育、市民協働など、上野原に住んでいてよかったと心豊かに暮らすための方法を考えていきます。

＝第1回開催概要＝

日時：2024年4月27日（土）10:00～12:00

会場：もみじホール

参加者：35名

プログラム：

1. はじめに
2. 趣旨説明
3. 情報提供
 - ・上野原市の現状について
 - ・次期総合戦略の方向性について
4. グループワーク
 - ・10年後に期待する上野原の姿とは？
 - ・上野原の強みと弱みとは？
5. おわりに

プログラム紹介

第1回うえのはら未来会議の流れについてご紹介します！



10:00-

はじめに / あいさつ・趣旨説明

上野原市の政策秘書課より開会の挨拶として、ワークショップ開催の目的や総合戦略について説明しました。



10:10-

アイスブレイク / チェックイン

参加者の緊張をほぐし、話しやすい雰囲気づくりを行うため、体操や後出しジャンケンをアイスブレイクとして行いました。

その後に、お互いを理解するための「ぐるぐるチェックイン（自己紹介）」を行いました。

10:30-

情報提供（総合戦略とは？ / 上野原の現状と課題）

総合戦略とは、人口減少に歯止めをかけ、持続可能なまちづくりを実行していくための計画です。総合戦略の策定にあたって、現行の総合戦略の検証結果や市民アンケート、各種データ分析の結果について説明しました。市役所だけ、市民だけ、ではなく、上野原が1つのチームになって『チームうえのはら』で進める必要があります。

現在

現状維持の未来

実現したい未来

戦略

上野原市の資源（人、モノ、金、情報など）

11:10-

グループワーク

グループワークでは、まずワークシートに「10年後の上野原を〇〇なまちにします！」と宣言するところからスタート！子どもたちがワイワイ元気なまちや笑顔あふれるまち、人に勧められるまちなど様々な意見がありました。

その後、そのまちを実現するために必要な取組みや、実現にあたって活かせる上野原の強み、逆に課題になりそうな弱みをグループ内で話し合いました。地域内（世代、他分野）の交流をもっと活発化させる、モビリティを活用する、観光資源を磨き上げるなど、様々な資源や課題が出されました。（詳細は次のページ）

最後はグループ内で話したことを全体で共有しました。

-12:00

おわりに / 感想記入 / 次回の予告

グループワークまとめ

グループワークで話し合った内容について、一部ご紹介します！



10年後の上野原を、

- 子ども達が楽しく、わいわいと遊べる場所をつくって、上野原の方々が楽しく暮らせるまち
- 日本一の人口増加率を誇り、街の中で WAKU WAKU の毎日をごせる人達であふれる
- 観光客であふれるまち
- （都会の人が次に住みたい）住みやすい、ちょうど良い田舎のまち
- 山や森林の環境が良くなる動きをつくれるまち
- 地域で衣・食・住に必要なものがつくられ・使われて循環していくまち
- 自然と共存する / 市民が上野原にプライドを保てる / 県内で一番子どもにやさしいまち
- 農業で食べていけるまち
- 住んでいてよかったなあと思える / 若い人たちがずっと住んでいたい / 楽しいこといっぱい全国の人に注目されるまち
- 自信を持って紹介できるまち
- 子ども達のにぎやかな声と高齢者の明るい話し声が上手くマッチングした子育て環境の充実したまち
- 心おだやかに、みんなのつながりがあるまち
- 自然の中で地域の人々が笑顔で協力しあえるまち
- 社会教育とモノづくりの盛んな若者が挑戦できるまち / 若者の起業が盛んなまち

にします！

必要な取組み

- 子どもが安全に遊べる場所をつくる
- 地域に住む人同士が安心できる人間関係
- ライドシェアの活用
- 人材活用
- 市民活動の活発化、見える化
- インバウンド客を集める施設（英語、田舎体験）
- 空き家のリノベーション
- 上野原といえば・・・みたいなものを見つける
- 森林整備→林業者への支援
- 自ら町のこれからを市と協力してつくりあげる
- 上野原のまちに持続的にお金が入ってくるしくみをつくる
- 農業自給率、耕作放棄地
- 周知方法を改めてみる
- 地域コミュニティや人と人のつながりをつくる
- お祭りや伝統行事などの PR 活動
- 廃校跡地の利用（廃校アート、映画祭）

強み（資源）と弱み（課題）

- 上野原で働きたい→職がない
 - 企業への誘致、IT（リモート、在宅）
- 上野原に住みたい→住むところがない
 - アパートや公園の整備など
- 子育てしたい→預けるところがない
 - 遅くまで預けられる所
 - 救急の病院
- ミューの森のさらなる PR+道の駅の整備
- デマンドタクシーの導入
- 自然の美しさ、心温かい人、個性的で面白い人が住んでいる
- 市にあるものを端から端まで見る。秋山金山、無生野念仏もあった
- 若者に向けての宣伝方法
- 森林の環境整備
- 自信をもって住みやすいといえることがまだピンとこないから、3つ以上言えるようにしたい時間が足りなさそうです。